

## 三浦半島, 鮮新-更新統三浦-上総層群におけるシロウリガイ類化石産出層の年代層序 Chronostratigraphy of the *Calypptogena*-bearing, Plio-Pleistocene Miura and Kazusa Groups, central Japan

宇都宮 正志<sup>1\*</sup>, 田中 裕一郎<sup>2</sup>, 楠 稚枝<sup>1</sup>, 小林 青葉<sup>1</sup>, 中村 章子<sup>5</sup>, 岡田 誠<sup>3</sup>, 和田 秀樹<sup>4</sup>, 間嶋 隆一<sup>1</sup>

UTSUNOMIYA, Masayuki<sup>1\*</sup>, TANAKA, Yuichiro<sup>2</sup>, KUSU, Chie<sup>1</sup>, Aoba Kobayashi<sup>1</sup>, NAKAMURA, Ayako<sup>5</sup>, OKADA, Makoto<sup>3</sup>, WADA, Hideki<sup>4</sup>, MAJIMA, Ryuichi<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 横浜国大・環境情報, <sup>2</sup> 産総研・地質情報, <sup>3</sup> 茨城大・理, <sup>4</sup> 静岡大・理, <sup>5</sup> 株式会社リコー

<sup>1</sup>Environment and Information Sciences, Yokohama National University, <sup>2</sup>National Institute of Advanced Industrial Science and Technology, <sup>3</sup>Department of Earth Sciences, Faculty of Science, Ibaraki University, <sup>4</sup>Department of Science, Faculty of Geosciences, Shizuoka University, <sup>5</sup>Ricoh Company, Ltd.

三浦半島北部には鮮新-更新統の前弧海盆堆積物が露出し, この時代の化学合成化石群集が世界でもっとも多産する地域の一つである。本地域には下位から三浦層群池子層, 上総層群浦郷層および野島層が重なり, 多様な産状のシロウリガイ類化石が産出する。例えば, シロウリガイ類化石が大規模な海底地すべりによって形成された異地性の砂岩層ブロックから産出する産状(池子層鷹取山火砕岩部層), シロウリガイ類が当時その場所に生息していたと考えられる産状(浦郷層), 堆積物重力流で堆積したと考えられる砂岩層から産出する産状(野島層今泉砂礫岩部層)が認められる。こうしたシロウリガイ類化石層の産状の時空変化と堆積環境の関係を調べるため, 石灰質ナノ化石に基づく年代決定を含め, シロウリガイ類化石産出層の層序関係を詳細に検討した。

堆積物試料を池子層の12層準, 浦郷層の5層準および野島層の6層準から採取し, 石灰質ナノ化石の生層序区分であるCN帯の認定を行った。CN帯の境界の年代値は Raffi et al. (2006) による。その結果, 池子層中にCN11帯(4.50から3.79Ma)に初めて出現する *Pseudoemiliana lacunosa* の初産出層準とCN11b亜帯とCN12a亜帯の境界(3.79Ma)である *Reticulofenestra pseudoumbilicus* の終産出層準が, 浦郷層中にCN12a亜帯とCN12b亜帯の境界(2.87Ma)である *Discoaster tamalis* の終産出層準とCN12b亜帯とCN12c亜帯の境界(2.52Ma)である *Discoaster surculus* の終産出層準が, 野島層最下部にCN12c亜帯とCN12d亜帯の境界(2.39Ma)を定義づける *Discoaster pentaradiatus* の終産出層準がそれぞれ認定された。Gauss 正磁極期と Matuyama 逆磁極期の境界(2.58Ma)は *Discoaster pentaradiatus* の終産出層準から30から60m下位に位置する。

以上の結果から, 池子層の含シロウリガイ類化石層の堆積年代は約4.50から3.79Ma, 浦郷層の含シロウリガイ類化石層の堆積年代は2.52-2.50Maと見積もられる。

キーワード: 化学合成化石群集, 三浦半島, 三浦層群, 上総層群, 石灰質ナノ化石層序

Keywords: chemosynthetic fossil assemblage, Miura Peninsula, Miura Group, Kazusa Group, calcareous nanno fossil stratigraphy